**学校生活でのご配慮のお願い**

作成日　　○年　○月　○日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| かんがく　たろう  関学　　太郎 | 男 | 生年月日  ○○年○月○日（○歳） |

学校：○○小学校

医療機関：○○病院・クリニック（主治医：○○）

○○市○○　TEL：○○

診断名：発達性協調運動障害

|  |
| --- |
| 障害名・程度・特徴 |
| ・息子は発達性協調運動障害（DCD：Developmental Coordinate Disorder）です。○年の○月に○○病院で診断を受けました。  ・この障害の特徴は、先天的に極端に不器用なことです。小さいころから身体の動きがぎこちない、手先が不器用なため、日常生活に支障が生じます。  ・息子の場合、幼児期から運動全般が苦手で、これまでに以下の特徴がありました。  鉄棒やつりわなど手足の力を同時に入れて身体を動かすことが難しい。  ボールを蹴る、ボールを手で受け止めて投げる、縄跳びなどの複雑な動きが難しい。  見本を真似て、自分の身体を動かすとぎこちなくなる。  〇や△などの単純な絵しか描けない。  文字を小さい枠にかけない。  泳げない。泳ごうとすると手足がバラバラに動く。  ひもを結べない。  　その他……… |

|  |
| --- |
| 病院・家庭での対応 |
| ・診断を受けてから、作業療法士による訓練を受けました。  ・具体的には、腕立てバランス、片手バランス、手押し車、○○、○○等の訓練です。  ・全身の筋肉の力が弱かったので、家でも筋力を鍛えるメニューを中心にやるよう言われました。家庭では、チャレンジタイムと名前をつけて、○○、○○をやっています。これをやると好きな遊びを○○分追加できるようにしています。  ・年齢による成長の影響もあると思いますが、毎日続けていると少しずつできることが増えました。ただ、実年齢から１年半ほど運動能力が遅れているように思います。  ・その他……    訓練や家庭での対応の写真  訓練や家庭での対応の写真  訓練や家庭での対応の写真 |

|  |
| --- |
| 学校で配慮をお願いしたいこと |
| ・体育、図工といった全身の運動と手先の細かな運動を必要とする授業は、一人ではうまくできないことが多くあり、学年が上がるにつれて苦手意識がでてきています。  ・体育では、初めはどのように自分の身体を動かしたらいいのか分からず見ているだけだったり、出来ないことをごまかすように、すぐに膝をついたり、こけたりすることもあるようです。すぐには出来なくても繰り返して行うことで、楽しむことが出来るようなので、本人のペースを見守っていただけたらと思います。  ・手先を使う動作が多いときは、ひとつずつ区切って指示をしていただくと本人も分かりやすいようです。  ・本人は先生の指示に頑張って取り組もうとします。しかし、頑張ってもうまくできないことが多いです。やる気がないわけではありませんので、本人は必死で努力していることをご理解いただければ幸いです。 |

先生方におかれましては、何卒ご理解、ご配慮のほどよろしくお願いいたします。

保護者氏名○○

**ボリュームが多いと読むだけで大変な作業になります。先生方もお忙しいので、簡単にまとめた方が良いです。A4用紙2枚以内でまとめることをお勧めします。**